

VI 図書館

1 図書館サービスの方針

図書館は、利用される方のための身近な生涯学習の場となるよう、常に幅広い分野の最新情報を収集し提供する。

図書館のホームページや町広報誌などから、資料や図書館イベントなどの情報をはじめとする多様な情報を提供し、図書館の情報化を図る。

また、読書に親しむ環境を整え、多様な内容の講座を開催するなど多くの方に利用していただける図書館を目指す。

2 平成24年度の実績

(1) 図書館資料整備及びサービス事業

- ・開館日数 279日 (開館1日あたりの入館者数580人)
- ・図書資料購入受入数 4,451冊 (年度末図書資料数 138,537冊)
- ・視聴覚資料購入受入数 115点 (年度末視聴覚資料数 4,862点)
- ・登録者数 1,495人 (年度末延登録者数 19,502人)
- ・貸出人数 57,758人
- ・貸出点数 275,001点
- ・予約冊数 4,127冊 (内インターネットでの予約1,835冊)
- ・インターネット検索件数 507,018件

〔点検・評価〕

町広報やホームページへの情報量を増やすなど、図書館のPR活動を積極的に行ってきました。また、インターネットを利用したサービスの向上により、蔵書検索を始めとする図書館へのアクセス件数も多く、その成果もあり、多くのかたに図書館を利用していただくことができた。

今後も、図書館資料の充実を図るとともに、多様な方法により最新情報を提供することができるように努める。

(2) 図書館行事開催事業

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
おはなしのじかん	年 61 回	計 698 人	幼児・児童が読書への意欲と興味を持てるよう、ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせ会を開催した。

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
おはなしたまてばこ	平成 25 年 3 月 3 日	58 人	幼児・児童を対象に、腹話術・大型絵本の読み聞かせ・エプロンシアター等を、おはなしのへやで開催した。
図 書 館 講 座 (わらべうた講座)	平成 24 年 9 月 12 日	24 人	昔から受け継がれているわらべうたに親しむことにより、親子がふれあい、豊かな心を育てるために開催した。
映 画 会	毎月第 3 土曜日 年 12 回 こども映画会 年 10 回	計 564 人	大人向きと子ども向きに分け、ビデオや DVD の上映を、アメニティホールで実施した。
学 習 室 の 利 用	140 日	計 3,390 人	2 階ミーティングルームとアメニティホールを学習室として利用した。
視聴覚ブースの利用	279 日	計 3,604 回	ブースを利用し、図書館所蔵の視聴覚資料を視聴した。
ギャラリーの利用	年 5 回	_____	学校教育事業及び生涯学習事業等の成果発表の場としてギャラリーを利用した。
本のリユースフェア	平成 25 年 2 月 1 日から 2 月 24 日まで	計 169 人	ご家庭で不要になった本を収集し、必要な方へ無償で配布した。 受取者数 169 人 受取冊数 1,170 冊 来場者数 543 人

(3) 各団体の図書館利用行事等

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
小学校の図書館見学	年 7 回	計 427 人	町内の小学生が図書館の利用について学習した。
中学校の体験学習	年 2 回	計 10 人	町内の中学生が、図書館の仕事を体験し、図書館の仕事についてや、社会の中で働くことについて学んだ。
弥富高等学校 図書館見学	年 1 回	18 人	高校生が、図書館を見学した。
子どもの本の会	年 10 回	計 79 人	子どもの本について話し合う 絵本の会「あいうえお」が図書館和室で本について話し合いを行った。
インターンシップ受入 (西陵高校生)	平成 24 年 8 月 2 日から 8 月 4 日まで 3 日間	2 人	図書館の仕事を体験し、図書館の仕事や社会の中で働くことについて学んだ。
インターンシップ受入 (愛知大学生)	平成 24 年 8 月 21 日・22 日・ 23 日・25 日・26 日・ 28 日・29 日 7 日間	1 人	図書館の仕事を体験し、図書館の仕事や社会の中で働くことについて学んだ。

行 事 名	開催日または回数	参加者数	内 容
社会体験研修生受入 (名古屋市立牧野小学校教諭)	平成24年8月7日 8月8日 2日間	1人	図書館の業務全般を体験した。
社会体験研修生受入 (蟹江中学校教諭)	平成24年8月3日 8月4日 8月8日 3日間	1人	図書館の業務全般を体験した。
学校図書主任者会	平成24年11月22日 平成25年2月19日 2回	町内学校図書主任始め 計23人	町内小中学校と連携をとり、図書の活用方法や選書について話し合い、図書館の有意義な活用方法について意見交換した。
尾張部公共図書館連絡協議会	平成24年11月29日	30人	年6回開催される定例会のうち、第4回定例会の担当館として、職員の研修会を開催した。
海部地区小中学校長会	平成24年11月21日	27人	海部地区中学校長の役員会会場として利用された。

[点検・評価]

子ども達が本に親しめるように、読み聞かせを月6回程度定期的に行っており、親子で参加できるわらべうた講座を開催した。

映画会においては、毎月開催している映画会に加え、こども映画会として10回開催したことにより、たいへん多くのかたが参加された。また、町発行の「須成祭」や図書館で製作した「本のソムリエ」のDVDを始め、姉妹都市マリオン市の紹介DVDも不定期に館内で上映した。今後も、より良い内容の映画を上映し、多くのかたに楽しんでいただけるよう、引き続き映画会を開催していく。

その他、図書館内の施設の利用としては、学習室を多くのかたに利用していただいた。さらに、ギャラリーを生涯学習事業等の成果発表の場として開放し、展示等を行うことは好評を得ている。

また、町内の中学校の児童・生徒の図書館見学や職場体験は、子ども達が図書館に興味を持つ良い機会となっており、高校生・大学生の図書館実習の受入れや、小・中学校教諭の社会体験の受入れも行った。

平成24年度から初めて開催した本のリユースフェアでは、家庭で不要になった本を図書館で収集し、必要なかたに無償で配布したところ、多くのかたが来場され、本を有効に利用することができ、大きな成果があった。

今後も、図書館講座を開催することや、読み聞かせを充実させることを始めとし、さまざまな行事を開催していくことで図書館事業の拡充を図り、多くのかたにご来館いただけるよう努めていく。